

評価報告概要表

■第三者評価機関

名 称	社会福祉法人 山口県社会福祉協議会
評価調査日	平成29年2月10日（金）

■福祉サービス事業者情報

名 称	障害福祉サービス事業所「ハイツふなき」	種 別	障害福祉サービス事業 (自立訓練[生活訓練]・宿泊型自立訓練)
代表者氏名	佐伯 豪	開設年月日	平成3年4月
設置者	社会福祉法人 扶老会	定員(利用人数)	20名
所在地	宇部市大字船木833-21		
電話番号	0836-67-0188	FAX番号	0836-67-0888
ホームページアドレス	http://www.furoukai.jp		

■総 評

全体を通して(事業所の優れている点、独自に工夫している点など)

◇特に評価の高い点

今回は2回目の受審であり、施設のサービス提供に対する評価を、管理者をはじめ、各職員が積極的に実施されたことは素晴らしいと思います。管理者自らが最新の情報を集め、研修会等に参加し、今後の動向を踏まえた経営方針にするなど、強いリーダーシップと変わらない熱意を感じました。また管理者は法人内の障がい者部門を一任されており、医療や高齢者施設等との連携により、効果的な施設運営をされていました。

小規模な施設であることの利点を生かし、職員と利用者との距離が近く、職員と利用者の信頼関係を築くために利用者との会話を大事にされ、男子会女子会という会を作って一緒にラーメンを食べに行ったり、買い物に行ったりと、日常生活の中で相談しやすい雰囲気づくりを心がけておられます。法人内には就労支援サービス事業所が隣接され、見学や体験が気軽にできる機会が与えられており、利用者一人ひとりの今後を見据えた支援の取組が積極的に実施されていました。

◇改善を求められる点

中・長期目標については、支援制度そのものやその内容の変更により難しい面があるかと思いますが、理念に基づいた目標設定を期待したいと思います。また前回の課題であった文書化、マニュアル化については、評価、見直しが十分といえず、引き続き検討して下さい。

施設は全室個室ですが、全体的にバリアフリーになっておらず、建物の老朽化が進んでいるようです。特に、トイレの段差や臭気などの環境問題、浴室の空調設備や浴槽の作りなど気になる点がありました。また食事において、現時点では施設独自の対応や個別の対応が十分とはいえないので、今後はサービスの質の向上のために検討されることを望みます。

地域との連携を重要視され、イベント等法人全体で開催されていますが、利用者が地域で生活しやすくしていくために、民生委員・児童委員との連携の強化を望みます。

■第三者評価結果に対する事業者のコメント・事業所のPR

この度、9年ぶりに福祉サービス第三者評価を受審しました。前回の受審時から、障害者福祉を取り巻く制度や環境は大きく様変わりし、利用者像も変わりました。近年では、障害者施設における虐待問題や殺傷事件等、図らずも社会から多くの注目を集める事態も起きています。社会福祉法の改正による社会福祉法人の制度改革も実施され、今、あらためて自分たちの質、立場を見つめ直し、より時代と社会のニーズにあった事業、サービスを展開する必要性を強く感じています。今回の受審を契機とし、頂戴した評価を真摯かつ謙虚に受け止め、更なる質の向上と利用者満足に向けた取組の強化、充実を図ってまいりたいと思います。

評価報告概要表

■評価分野別評価結果(分野別の特記事項)

I 福祉サービスの基本方針と組織	a	4	b	1	c	4	Na
<p>法人理念は明確に打ち出されて、周知もされていきました。また業界情報にも精通された管理者の強力なリーダーシップや熱意は素晴らしいと思います。しかし中・長期計画については、業界全体での制度や収入の急激な変化などに悩みながらも職員、利用者と共に作成されることを希望します。</p>							

II 組織の運営管理	a	12	b	5	c	1	Na
<p>管理者が業界の動向に精通されている点は素晴らしく、経営状況についても毎月1回、税理士のチェックが行われる点も高く評価されます。また職員の個別の能力やモチベーションを高めるために、能力開発カードの活用、ワークライフバランスの積極的な導入、年休を消化する仕組みづくりができています。</p>							

III 適切な福祉サービスの実施	a	7	b	11	c	0	Na
<p>利用者の権利擁護について、管理者はもとより職員の意識が高く、朝礼、会議等で唱和、話し合いがなされており、支援サービスに活かされている点は高く評価できます。システム導入により記録の管理体制は確立され、個別支援計画や情報が職員間で共有されていました。しかし、標準的な支援方法について、PDCAサイクルが十分活用されていませんでしたので、今後期待します。</p>							

IV 良質な個別サービスの実施	a	18	b	7	c	4	Na	5
<p>職員と利用者は、信頼関係が構築されており、職員の利用者個々のニーズへの対応が良好だと感じました。しかし食事については嗜好調査の実施、選択メニュー等、個々の要望も取り入れられる仕組みづくりに検討が必要と思えます。また民生委員との連携、施設の老朽化による問題について今後の改善が望まれます。</p>								